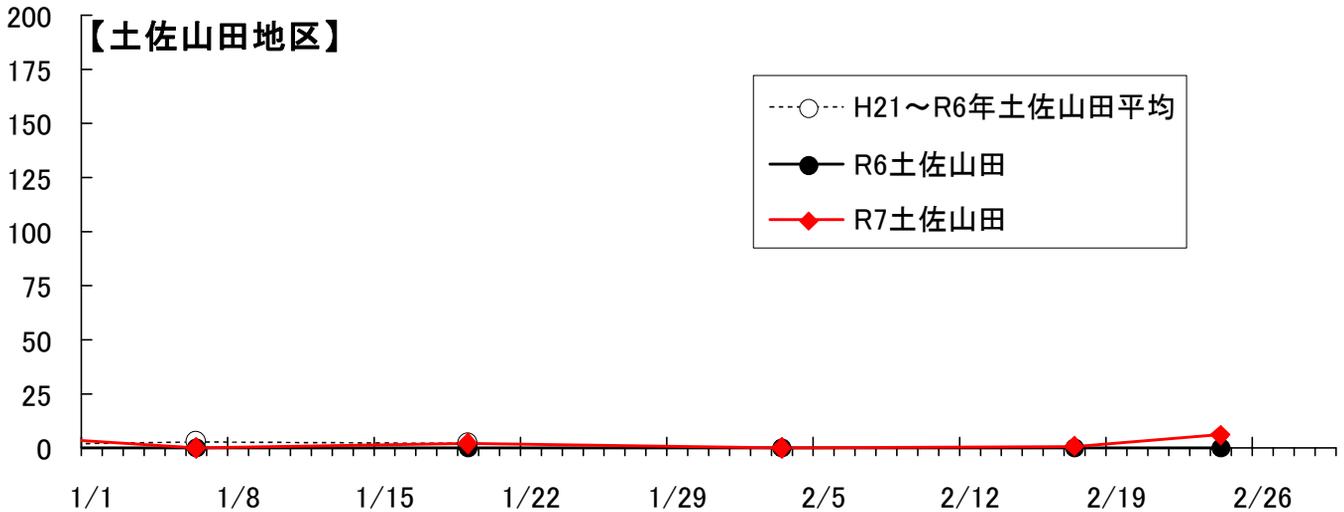
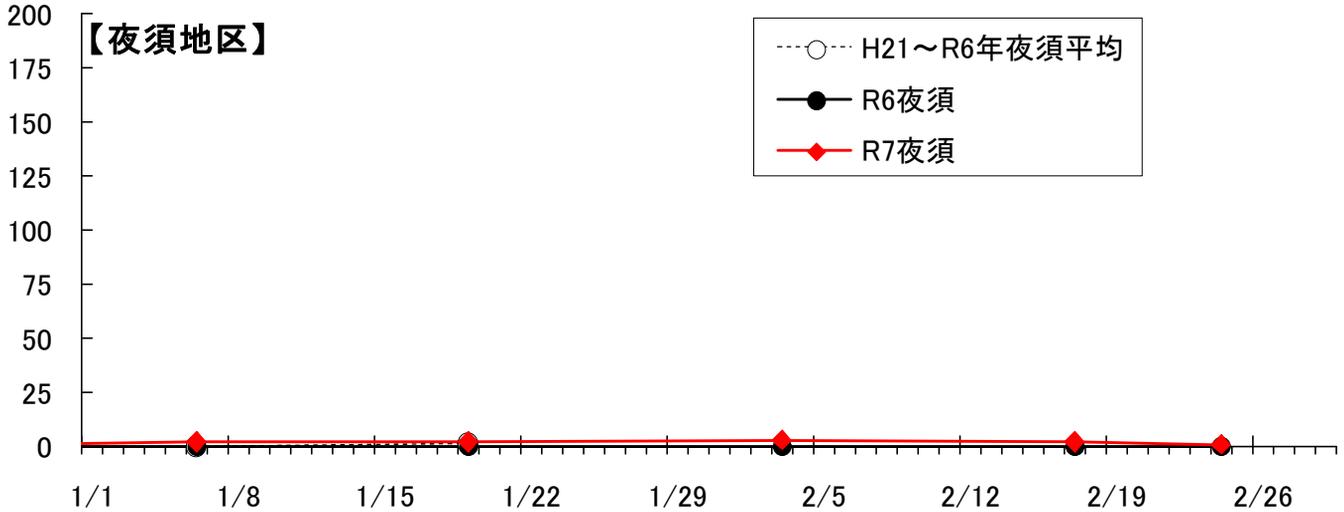
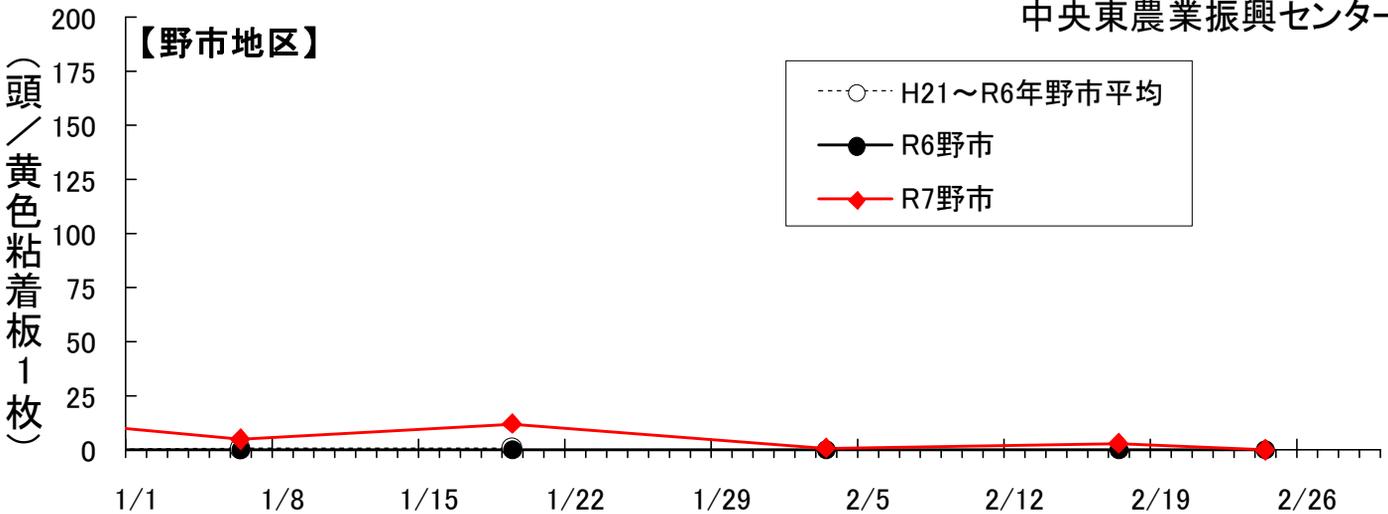


アザミウマ類の野外発生状況

R8年2月24日調査
中央東農業振興センター



設置場所について:野市地区、夜須地区、土佐山田地区のニラほ場付近(各地区1地点)

- ✓ アザミウマ類は種によって差はありますが、成虫の生存期間は50日前後で、「1サイクル(卵期～成虫期)」は10～20日程度です
- ✓ 平均気温が20～25℃の条件下では、捕殺数が急増することがあります

捕殺数はいずれの地区でも低密度で推移しています。一方で、ハウスの中ではアザミウマ類の被害がみられますので、ほ場をよく観察し、早めの防除を心がけましょう。

気温が上昇するに伴い、アザミウマ類の発生も増加してきます。一度多発生してしまうと、密度を抑えることも難しくなりますので、ほ場周辺の除草などもご検討ください。